

# 評価報告概要表

## ■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	令和元年11月8日 (金)

## ■福祉サービス事業者情報

名 称	みつぎ清風園	種 別	救護施設
代表者氏名	施設長 池田 光紀	開設年月日	昭和34年4月1日
設置者	社会福祉法人 尾道さつき会	定員(利用人数)	100名(102名)
所在地	〒722-0353 広島県尾道市御調町高尾46		
電話番号	0848-77-0030	FAX番号	0848-76-2788
ホームページアドレス	<a href="http://www.satukikai.com/">http://www.satukikai.com/</a>		

## ■総 評

### 全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

#### ◇特に評価の高い点

救護施設みつぎ清風園は、平成28年4月に尾道市から社会福祉法人尾道さつき会に経営移管され、その後、法人の理念、基本方針に基づいて施設の経営が行われ、居宅生活訓練事業や生活困窮者就労訓練事業など積極的な事業展開がなされています。特に、地域の生活困窮者支援に係わるネットワークの構築や、循環型セーフティネット施設として機能の維持・強化に積極的に取り組まれています。

このたびの受審の理由として、職員体制や利用者支援に対するスキルアップを挙げられておられます。評価に伴う利用者のアンケートでは「経営移管後、生活が便利になった」という声もあり、利用者主体の施設づくりをめざして取り組まれてきた、その成果が表れてきているものと思慮します。経営移管後4年目に当たり、さらなる福祉サービスの向上を目指しての第三者評価事業の取組は、意義あるものと考えられます。

管理者においても、法人との密接な連携のもと、施設の経営・運営や福祉サービスの向上に向けてリーダーシップを発揮され、職員の共通理解のもとに積極的な取組を進めておられます。

#### ◇改善を求められる点

利用者が主体的に生活できる施設として、利用者の支援にかかわるプライバシーやリスクマネジメントなどの規程や組織体制等のソフト面での整備が求められます。

利用者の居室について、プライバシー確保への配慮についての工夫が望まれます。構造上の検討も必要と思われませんが、カーテン・間仕切り等の活用についても検討が求められます。

中・長期計画は内容・数値目標等を具体化され、それを踏まえた単年度計画の策定が望まれます。

## ■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

今回初めての受審により、まずは全職員が自己評価を実施したことで、利用者支援の現状を把握することができ、「我が事」としての当事者意識を得ることができたと感じております。特に評価の低い項目については早急に改善方法を協議し、組織的な取り組みに繋げていきたいと思っております。

今後も引き続き広域的なセーフティネット施設として、「利用者ファースト」をコンセプトに、地域包括ケアの一翼を担っていきたいと考えております。

# 評価報告概要表

## ■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	2	b	5	c	2	Na	0
<p>法人の理念・基本方針は明文化され、基本方針に基づく施設としての使命や方向性は、事業計画や職員の行動規範(遵守事項)、諸会議で周知が図られています。また事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しは、職員が参加し組織的に取り組まれています。</p> <p>中・長期計画は策定されていますが具体的な数値目標や収支計画が明確でないため、今後、具体化され単年度事業計画に反映されることが望まれます。また今回の評価結果についても課題等検討され、中・長期的計画に反映されることを期待します。</p>								

II 組織の運営管理	a	11	b	4	c	3	Na	0
<p>法人との連携のもと、公正かつ透明性の高い施設経営・運営が行われ、また人材の確保・育成や人事管理、労務管理等が適正に行われています。管理者は役割と責任を明確にされ、施設目標や課題解決等に対してリーダーシップを発揮され、福祉サービスの向上とともに職員が働きやすい環境整備にも取り組まれています。</p> <p>福祉人材の確保・育成のため、実習生の受入れについて体制を整備され、また、地域社会と施設のつなぎ役ともなるボランティア等の受入れについてもマニュアルを整備されるなど、積極的な取組が求められます。</p>								

III 適切な福祉サービスの実施	a	9	b	6	c	3	Na	0
<p>利用者の人権に対する取組は積極的に行われており、虐待防止マニュアル・権利擁護行動指針からも確認され、研修等において施設や法人全体で実施されています。</p> <p>プライバシー保護に関する規程・マニュアル等の整備は不十分であり、業務マニュアルの内容の中にも「プライバシー保護」に関する記載がないため、検討され早期に整備される必要があります。また、利用者の記録に対する個人情報管理についても、規程に基づく取組と定期的に研修を実施され、全職員に周知されることが求められます。</p> <p>利用者の安全安心の確保のため、ヒヤリハット報告の事例収集・分析を行い対応策を講じるなど、リスクマネジメント体制の構築をされ、さらなる福祉サービスの向上が期待されます。</p>								

IV 良質な個別サービスの実施	a	4	b	12	c	2	Na	0
<p>基本的な日常生活支援は、個別支援計画に基づき、利用者の障害・疾病等の状況に応じて柔軟に行われています。地域生活への移行支援についても、利用者の意向を尊重し適切に行われています。また、利用者からの相談等も個別に対応され、内容については関係する職員間で共有するとともに個別支援計画に反映されています。</p> <p>利用者のお話やアンケートからも、職員の親切で丁寧な言葉遣いや利用者を尊重した支援について満足されていることを聞くことが出来ました。</p> <p>利用者の権利侵害の防止等に関する取組については、全職員に周知徹底され、着実な取組が必要です。また、家族等との関係についても、利用者の状況に応じて行事の連絡など工夫され、継続的な取組を期待します。</p>								

# 第三者評価結果表

施設名 みつぎ清風園

## 評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

【 評価項目 】		a	b	c	Na
<b>1 理念・基本方針</b>					
<b>(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。</b>					
1	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	○			
<p>(特に評価が高い点)            法人の理念・基本方針がホームページ上や事務室、食堂、介護室等に掲示され、職員及び利用者に周知されている。また、理念・基本方針に基づく職員遵守事項も定められ、毎週月曜には全職員で法人の理念・基本方針が唱和されている。</p> <p>(改善が求められる点)            特になし。</p>					
<b>2 経営状況の把握</b>					
<b>(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</b>					
2	1 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。		○		
3	2 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。		○		
<p>(特に評価が高い点)            特になし。</p> <p>(改善が求められる点)            法人として、全事業の経営状況等を把握・分析されていることは書面からも確認できたが、今後、施設としての具体的な取組が求められる。</p>					
<b>3 事業計画の策定</b>					
<b>(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。</b>					
4	1 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		○		
5	2 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		○		
<b>(2) 事業計画が適切に策定されている。</b>					
6	1 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	○			
7	2 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。			○	
<p>(特に評価が高い点)            事業計画は、職員の意見集約のうえで策定され、その後の実施状況の把握や評価・見直しも組織的に行われている。</p> <p>(改善が求められる点)            中長期計画の内容・数値目標を具体化され単年度計画に反映されたい。また、事業計画、事業内容の周知については、利用者や家族に書面等で配布され、掲示についても、利用者が見やすい位置、文字の大きさなど工夫をされたい。</p>					

【 評価項目 】		a	b	c	Na
<b>4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組</b>					
<b>(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。</b>					
8	1 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。		○		
9	2 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。			○	
<p>(特に評価が高い点) 特になし。</p> <p>(改善が求められる点) 2016年実施の自己評価結果に基づく計画的な改善策が十分行われていないので、今回の自己評価の分析から明確になった課題については、職員間で共有され、改善策の検討、実施に向けて組織的、計画的に取り組まれない。</p>					

#### 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

<b>1 管理者の責任とリーダーシップ</b>					
<b>(1) 管理者の責任が明確にされている。</b>					
10	1 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	○			
11	2 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	○			
<b>(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</b>					
12	1 福祉サービスの質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	○			
13	2 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 管理者は、自らの役割と責任を表明するとともに、現場の声を真摯に受け止められ、福祉サービスの向上に向けて強いリーダーシップを発揮されている。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし。</p>					

<b>2 福祉人材の確保・養成</b>					
<b>(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</b>					
14	1 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	○			
15	2 総合的な人事管理が行われている。	○			
<b>(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</b>					
16	1 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	○			

【 評価項目 】				a	b	c	Na
<b>(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</b>							
17	1	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。		○			
18	2	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。			○		
19	3	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。		○			
<b>(4) 実習生の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</b>							
20	1	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。				○	
<p>(特に評価が高い点) 福祉人材の確保・育成については新任職員への研修の充実、人事管理についてはチェックリストによる自己評価や人事考課の実施、労務管理については有給休暇の取得やワーク・ライフバランスの配慮など、法人との連携のもとで総合的な取組がされている。</p> <p>(改善が求められる点) 今後、福祉人材の確保や福祉サービスの充実を図っていくことの重要性から、実習生の受入れ体制(受入れマニュアル・プログラムの作成、オリエンテーションの実施等)の確立に向け取り組まれない。また、セクシャルハラスメントの規程は整備されているが、さらに、パワーハラスメントなどを考慮した規程の整備をされたい。</p>							

<b>3 運営の透明性の確保</b>							
<b>(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</b>							
21	1	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。			○		
22	2	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。		○			
<p>(特に評価が高い点) 法人全体として、経営・運営において透明性が確保され、施設においても業務・書類監査を定期的実施し透明性の確保に努め、適正な取組が行われている。</p> <p>(改善が求められる点) 施設運営の透明性を確保するため、事業計画・報告についても、ホームページ、広報紙等工夫され情報公開に努められたい。</p>							

<b>4 地域との交流、地域貢献</b>							
<b>(1) 地域との関係が適切に確保されている。</b>							
23	1	利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。		○			
24	2	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。				○	
<b>(2) 関係機関との連携が確保されている。</b>							
25	1	福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。			○		

【 評価項目 】		a	b	c	Na
<b>(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</b>					
26	1 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。			○	
27	2 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。		○		
<p>(特に評価が高い点) 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、利用者に提供されている。また、外出、買い物等利用者の個々のニーズにも対応されている。</p> <p>(改善が求められる点) 地域社会の福祉の向上のため、地域ニーズの把握に努められ施設機能を活用した活動が行われることが期待される。また、地域と施設をつなぐボランティア活動について、より積極的に受け入れられるようマニュアル等の整備をされたい。</p>					

### 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

<b>1 利用者本位の福祉サービス</b>					
<b>(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</b>					
28	1 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	○			
29	2 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。			○	
<b>(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。</b>					
30	1 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	○			
31	2 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。		○		
32	3 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。		○		
<b>(3) 利用者満足の向上に努めている。</b>					
33	1 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。		○		
<b>(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</b>					
34	1 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	○			
35	2 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。		○		
36	3 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。		○		

【 評価項目 】		a	b	c	Na
<b>(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</b>					
37	1 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。			○	
38	2 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	○			
39	3 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	○			
<p>(特に評価が高い点)  福祉サービスの理念・基本姿勢は、職員に周知・理解されている。利用者(予定者)に必要な福祉情報が提供され、苦情の対応についても、意見箱の設置や日常生活の中での個別相談など体制が整えられている。  感染症の予防等については、マニュアルに基づいて安全確保体制が整備されている。  災害時の安全確保の取組については、防災対応マニュアルによる体制整備や消防計画に基づく避難訓練が毎月行われ、また、地域の福祉避難所としても指定されている。</p> <p>(改善が求められる点)  利用者のプライバシーに配慮した福祉サービスの提供について、業務手順書に明記されるとともにマニュアル等の整備をされたい。また、利用者がより安心安全な施設生活を送ることができるよう、ヒヤリハット事例の収集と分析、改善・再発防止策の実施のためのリスクマネジメント体制の構築をされたい。  災害時の安全確保については、災害が頻発している状況から、さらなる利用者の安全のため、地域関係者との連携のもと防災訓練を実施されたい。</p>					

<b>2 福祉サービスの質の確保</b>					
<b>(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</b>					
40	1 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。		○		
41	2 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	○			
<b>(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</b>					
42	1 アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	○			
43	2 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	○			
<b>(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</b>					
44	1 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	○			
45	2 利用者に関する記録の管理体制が確立している。			○	
<p>(特に評価が高い点)  アセスメントに基づく個別支援計画が適切に策定され、評価・見直しがされている。また、サービスの実施状況の記録も適切に行われ、職員間で共有されている。</p> <p>(改善が求められる点)  個人情報の保護について、規程に基づいて適切に取り組みられるとともに、職員に対する研修等定期的にも実施され理解を深められたい。</p>					

#### IV 良質な個別サービスの実施(救護施設)

【 評価項目 】		a	b	c	Na
<b>A-1 支援の基本と権利擁護</b>					
<b>(1) 支援の基本</b>					
1	1 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。		○		
2	2 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。		○		
3	3 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。		○		
4	4 利用者の自己決定を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	○			
5	5 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。		○		
6	6 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。		○		
<p>(特に評価が高い点) 利用者からの相談等には随時対応し、必要な場合は職員間で共有・検討され個別支援計画に反映されている。</p> <p>(改善が求められる点) 利用者の居室のプライバシーの配慮について、間仕切りなど工夫され、快適な生活環境づくりに努められたい。</p>					
<b>(2) 権利侵害の防止等</b>					
7	1 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。			○	
<p>(特に評価が高い点) 特になし。</p> <p>(改善が求められる点) 虐待防止マニュアルや虐待防止・権利擁護行動指針に基づいて、権利侵害の防止と早期発見について全職員に周知徹底されるよう具体的な取組を進められたい。</p>					
<b>A-2 生活支援</b>					
<b>(1) 日常的な生活支援</b>					
8	1 利用者の障害・疾病等の状況に応じた適切な支援を行っている。	○			
9	2 利用者の個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。		○		
10	3 利用者の嗜好や心身の状況にあわせて食生活を支援している。	○			
<p>(特に評価が高い点) 利用者の障害や疾病状況に応じた支援を行うための研修会が実施され、支援方法が職員間で共有されている。また、食事の事故防止のため嚥下検査が半年毎に実施されている。</p> <p>(改善が求められる点) 個別に支援が必要な利用者がない状況にあるものの、利用者の心身の状況に応じて適切に支援を実施するため、入浴時のチェックリスト等の活用について検討されたい。</p>					



【 評価項目 】		a	b	c	Na
<b>(2) 機能訓練・生活訓練</b>					
11	1 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。		○		
<p>(特に評価が高い点) 特になし。</p> <p>(改善が求められる点) 機能訓練や生活訓練は、リハビリテーションセンターや作業療法士と連携して実施されているが、さらに日常の生活動作の中で利用者が主体的に取り組める工夫をされたい。</p>					

<b>(3) 健康管理・医療的な支援</b>					
12	1 利用者の健康管理の支援と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。		○		
13	2 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。		○		
<p>(特に評価が高い点) 特になし。</p> <p>(改善が求められる点) 利用者の健康管理に関する手順や個別計画の策定など、安全管理体制の明確化に努められたい。</p>					

<b>A-3 自立支援</b>					
<b>(1) 社会参加の支援</b>					
14	1 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。		○		
<p>(特に評価が高い点) 特になし。</p> <p>(改善が求められる点) 社会参加の支援は行われているが、利用者の外出・外泊については、配慮されているものの制限があるため、利用者の意思を尊重され柔軟な対応をされたい。</p>					

<b>(2) 就労支援</b>					
15	1 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。		○		
<p>(特に評価が高い点) 特になし。</p> <p>(改善が求められる点) 作業規程に基づいて、一人ひとりの状態に応じた就労支援に取り組まれているが、さらに利用者との定期的な話し合いにより、働く意欲や維持・向上のための支援等工夫をされたい。</p>					

<b>(3) 家族等との連携・支援</b>					
16	1 利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。			○	
<p>(特に評価が高い点) 特になし。</p> <p>(改善が求められる点) 家族会の参加者も少ない現状から困難性も理解されるが、家族との交流を深めるため、年間行事や誕生会等への参加案内や生活状況の連絡などの工夫をされたい。</p>					

【 評価項目 】		a	b	c	Na
<b>(4) 地域生活への移行と地域生活の支援</b>					
17	1 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	○			
<p>(特に評価が高い点)  地域での生活について、利用者の希望、意向を把握し移行への検討・支援体制がとられ、特に、地域の関係機関等との連携、協力による支援対策が実施されている。</p> <p>(改善が求められる点)  特になし。</p>					
<b>A-4 地域の生活困窮者の支援</b>					
<b>(1) 地域の生活困窮者の支援</b>					
18	1 地域の生活困窮者等を支援するための取組や事業を行っている。		○		
<p>(特に評価が高い点)  特になし。</p> <p>(改善が求められる点)  生活困窮者等への支援活動は積極的に行われており、今後、さらに地域の関係機関等によるネットワークを充実させ、セーフティネットの拠点として役割を担われたい。</p>					